



TeaTime

2010年・特別号 vol.34



新しい生命を迎える最高の空間

# 周産母子センターへ ようこそ



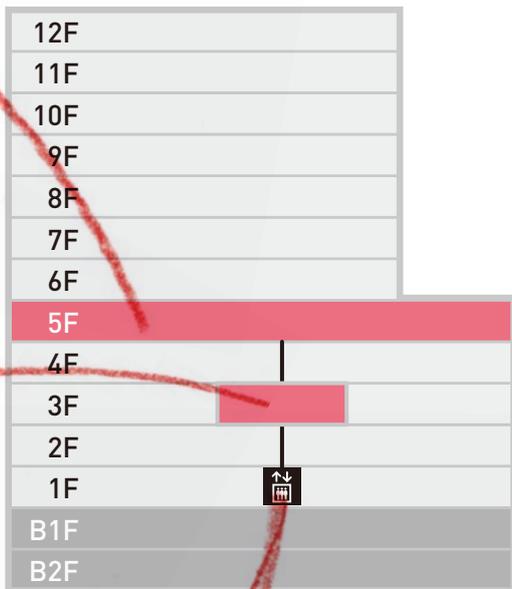
日本赤十字社医療センター情報誌  
Japanese Red Cross Medical Center

日本赤十字社

周産母子センター

# Floor Guide

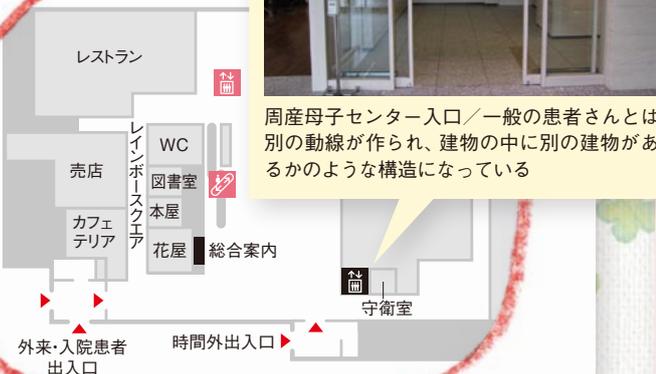
周産母子センターは、3Fの外来（産科外来・小児保健）エリアと、5Fの入院・分娩エリアから成ります。これらのエリアをダイレクトにつなぐ専用エレベーターによって、まるで独立した建物のような構造になっており、一般の患者さんと動線ができるだけ重ならないよう工夫されています。



1F



周産母子センター入口／一般の患者さんとは別の動線が作られ、建物の中に別の建物があるかのような構造になっている



新しい生命を迎える  
最高の空間

# 周産母子 センターへ

よ

う

こ

そ



2010年春、日赤医療センター内に、産科と新生児医療をドッキングした新ユニット「周産母子センター」が誕生しました。地域における周産期医療の中核として、また、東京都の母体搬送最終受け入れ施設としてリスクの高い妊娠・出産にも対応できる最高水準の医療設備をそなえる一方、「安全・安心なお産」「自然なお産」をモットーに、近年増えているフリースタイル出産や水中出産用の施設も完備。病棟は、落ち着いた色調とハイセンスなインテリアでしつらえ、プライベートにも十分配慮した構造になっています。新センターの特長の数々を、このたび「TeaTime」特別号として、皆様にお届けします。

# 5F 入院・分娩

分娩室、周産母子ユニット、NICU、GCUなどをワンフロアにドッキングし、各施設の緊密かつスピーディーな連携が可能に。木のインテリアと間接照明の柔らかな光が心地よく調和し、フロア全体に落ち着いた雰囲気が漂います。

※マザーフレンドリーホールから先のエリアは、あらかじめ1階病棟案内で入館手続きが必要です。

## 分娩室・MFICU

機能やデザインの異なる8つの分娩室、分娩手術室2室、MFICU (母体・胎児集中治療室) 6室を完備。

## NICU・GCU

NICU (新生児集中治療室) 15床、GCU (回復期治療室、強化治療室) 40床。



## マザーフレンドリーホール

各種マタニティークラスなどが開かれる。

## 周産母子ユニット

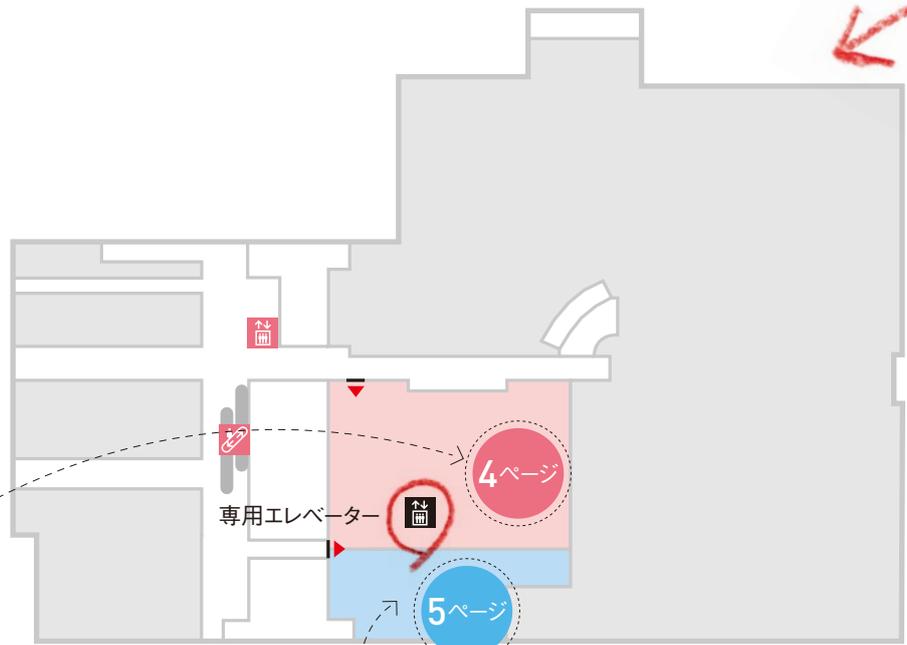
いわゆる入院病棟。ベッド数は、産前(5A) 33床、産後(5B) 52床で、個室・4床室ともに母子同室。

# 3F 外来

産科外来と小児保健が隣接する外来エリア。小児保健は、病児を対象とする小児科外来(2F)とは別フロアになっているため、安心して受診することができます。

## 産科外来

診察室、相談室、NST室、授乳室がある。



## 小児保健

診察室のほか、子どもの発育をみる身体測定室、相談コーナー、育児相談室、心理相談室、心理プレイルームがある。

# 待合ロビー



産科外来には1日約150～160人が訪れる

産科外来の待合ロビーは、隣接する小児保健と共同のオープンスペースになっているので、絵本やおもちゃが置いてあるプレイコーナーで遊ぶお子さんや、育児について情報交換するお母さんたちの姿が多く見られます。

## 体に優しい設計の待合椅子

おなかの大きい妊産婦さんの負担に配慮し、産科の待合椅子は他の診療科に比べてサイズが大きく、背もたれがあり、ソフトな素材を使っています。



出産も育児も不安ですが、スタッフの皆さんが優しく話し掛けてくださるので、勇気づけられます。

(25歳・女性)

8室ある診察室のうち2室は「助産師外来」専用です。相談室では、妊娠中の体

調管理や出産・母乳育児に関する疑問や不安など、あらゆる相談に応じています。

## 診察室・相談室

# 産科外来

産前・産後の妊婦健診や各種相談対応、母乳育児支援を行っています。マタニティークラスなどの参加手続きもこちらでどうぞ。



母乳相談室／助産師が母乳育児をサポート

## チーム診療で丁寧なケアを实践

産科医や助産師を中心に、薬剤師や医療ソーシャルワーカー、他科の医師などが協力して、母子の健診やケアにあたります。

この人、この人、この人

産科外来 看護師長  
貴家 和江



## ゆったりしながら計測

計測時間は平均40分。計測中は音楽を聴いたり雑誌を読んだり、自由に過ごせます。



診察室3つ分の広さの部屋に、リクライニング式のソファが6台並んでいる

## NST室

NST（ノンストレスト）は、妊娠後期に胎内の赤ちゃんの様子を確認する検査です。分娩監視装置を使って、赤ちゃんの心拍数や子宮収縮の状態を計測します。

## 母乳相談

母乳育児中の多くのお母さんが、「母乳が十分でない」「赤ちゃんの体重が増えない」などの不安を抱え悩んでいらっしゃるようですが、ほとんどの方は問題ありません。少しでも不安に思うことがあれば、私たちにご相談ください。

### 母乳育児を 全面サポート

母乳育児を続けるコツは、正確な知識を持ち、不安感を解消することです。退院してから卒乳までの母乳育児を積極的に支援します。

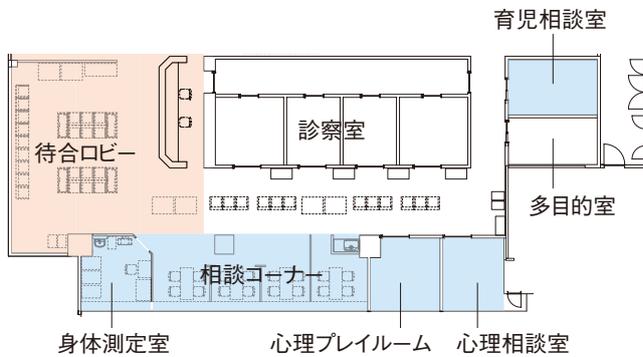


静かな部屋で、助産師がマンツーマンでアドバイス

一人でも悩まないでください



小児保健 助産師  
菅 一美



# 小児保健

乳幼児健診や予防接種をはじめ、栄養・発達・知能など育児に関する悩み事の相談も受け付けています。

## 乳幼児健診（発育・発達相談）

乳幼児健診は、赤ちゃんの成長を確認するだけでなく、日ごろの悩みや疑問を解決できるチャンスでもあります。発育（首の据わり、寝返り、おしゃべり）や食事（卒乳のタイミングや離乳食メニュー）のことなど、育児に関する相談なら何でもOK。予防接種については、接種の有無（打つ・打たない）や時期をアドバイスします。

掲示板には育児に役立つ情報が満載



予防接種の細かいスケジュールが聞けるので助かります。

〈30歳・女性〉



### 育児の「？」に お答えします

一人ひとりの相談内容に適したスタッフ——小児科医、助産師、保健師、管理栄養士、臨床心理士など——が、育児の不安や疑問を解決します。



家族そろってご利用いただける相談コーナー

## 一般分娩室

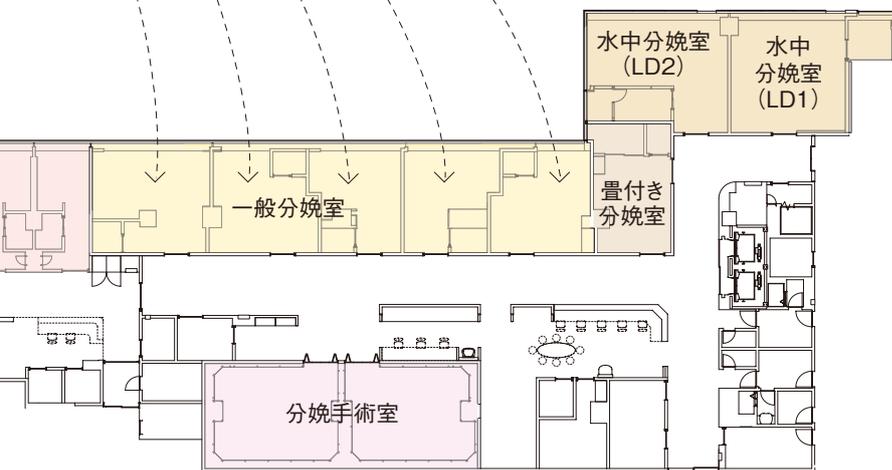
キーワードは「日常生活の延長線上」。リビングルームのような内装の分娩室には、リクライニング式の分娩台、トイレ、洗面台を完備。産婦さんは、薄暗い部屋のほうがリラックスできるため、調光式の間接照明やダウンライトを多用しています。

産んですぐに赤ちゃんを抱きしめて、そのまま2時間。人生最高のひとときでした。

〈28歳・女性〉



壁紙の色や柄は部屋ごとに異なる。運が良ければ、好きな部屋に入れるかも！



# 分娩室

分娩室は8つあり、すべて内装デザインが異なります。水中出産やフリースタイル出産を希望する方のために、浴槽や畳の付いている部屋もあります。

## 水中分娩室

水中出産は、約37度の温水の中で出産する方法です。温水には、体と心の緊張をほぐし、陣痛を和らげる効果があります。浮力が働くため姿勢を変えるのも簡単です。

※母体や赤ちゃんの状態によっては、ご利用になれないこともあります。

LD2 / こちらの浴槽は1人用サイズ



LD1 / こちらは、パパも入れる2人用サイズの浴槽

出産直後に思わず、「気持ち良かった！」と声が出てしまいました。

〈26歳・女性〉



緊急の帝王切開にも  
迅速に対応できる

## 分娩手術室

分娩室の真向かいに手術室が2部屋あり、帝王切開が必要と判断されたから15分以内に赤ちゃんを取り上げられる態勢を整えています。このような、産科専用の手術室を完備している医療機関は、全国でも当センターを含め数カ所しかありません。帝王切開のときでも、お父さんの立ち会いは歓迎ですよ！



## 出産空間を 自分好みに演出

好きな音楽をかけたり、お気に入りのアロマを焚いたり。ご自身で快適なお産環境をデザインしてみましょう。

## 生まれてすぐに カンガルーケア

生まれ立ての赤ちゃんをお母さんの胸に乗せるカンガルーケアを実施しています。可能であれば母乳も与えます。肌と肌がびたりと触れ合うことで赤ちゃんの呼吸が安定し、母子の絆が育まれます。また、お母さんの皮膚の常在菌を赤ちゃんに移すことで、細菌感染への抵抗力を付ける効果もあります。



分娩室の奥に、3畳分の琉球畳を敷き詰めた「和」のスペースがある

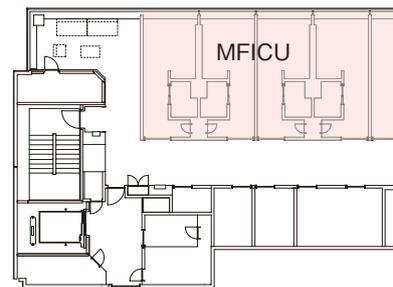
## 家族参加型の 出産におススメ

畳の上でのフリースタイル出産はもちろん、立ち会うご家族の待機スペースとしても利用できます。

分娩台の上ではなく、立ったり座ったり、四つん這いになったり何かにつかまったりと、自由な姿勢で出産する

方法をフリースタイル出産といえます。動くことで骨盤が広がり、重力が働いて赤ちゃんも下りやすくなります。

## 畳付き分娩室



分娩室の隣に  
産科集中治療室



分娩室 看護師長  
中根 直子

母体・胎児の救命に  
24時間態勢で臨む

## MFICU (母体・胎児集中治療室)



母体や胎児の命に関わる重篤な問題が起こったときに、適切な医療対応と重点管理を行う部屋です。室内には、分娩監視装置、呼吸循環モニター、超音波診断装置、人工呼吸器などの機器を備え、スタッフが24時間態勢で対応しています。

## 水中分娩 説明会を開催

産科外来では、水中分娩を希望される方、関心をお持ちの方を対象に、定期的な説明会を開催しています。



デラックスなお部屋に、家族はもちろん、お祝いに来てくれた親戚や友人も大喜び。一生に一度の素敵な思い出になりました。

〈37歳・女性〉



## 個室

# 周産母子ユニット

産前(5A)ユニットは妊婦さん同士で情報交換がしやすいよう4人部屋が中心、産後(5B)ユニットはお母さんと赤ちゃんがゆつくりと過ごせるよう個室が中心です。

一番広い特別個室(MSタイプ)は、ハイグレードな内装とバス付きが魅力。ご家族も一緒に宿泊できます。そ

のほか、広さの異なる3タイプ(MA・MB・MC)いずれもユニットシャワー付きをご用意しています。

ユニット勤務の看護職は全員助産師です



周産母子ユニット  
看護師長  
井本 寛子

こっちが産前(5A)ユニット

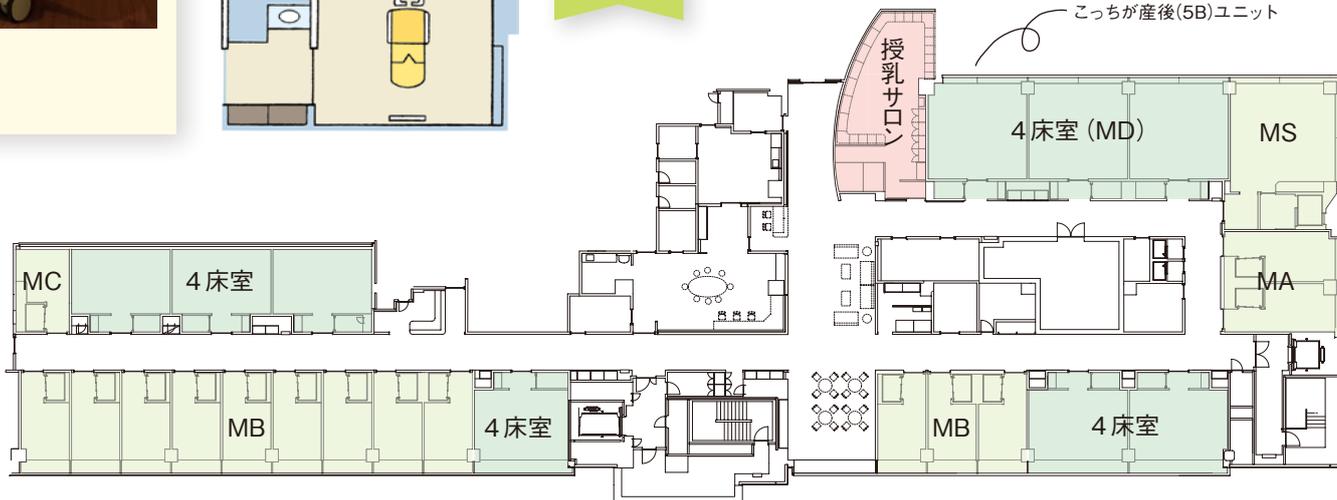


## LDRルーム

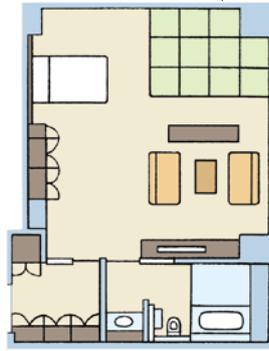
「LDR」は、Labor(陣痛)・Delivery(分娩)・Recovery(回復)の頭文字をとった略語です。妊婦さんは、入院から出産、退院までをこの部屋で過ごします。



こっちが産後(5B)ユニット



MSタイプ/ダークブラウンの家具で統一された高級感のあるインテリア。量敷きの「和」の空間も楽しめる



## 個室をご利用の方に アメニティーセットを差し上げます

シャンプー・コンディショナー・ボディソープ・ボディローション(すべてRENの製品)、歯ブラシセット、ブラシ、スリッパなどのアメニティーセットを、入院初日にお渡しします。また、バスタオル・フェイスタオル・ハンドタオル(すべてオーガニックコットン)・バスマットは、1日1回スタッフが交換します。



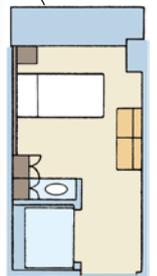
一般4床室はカーテンでセパレート

同室のママや赤ちゃんの様子を見ることができて、参考にになりました。

(27歳・女性)

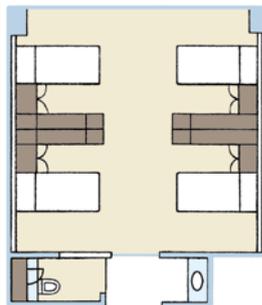


MBタイプ/渋谷駅方向の部屋は、天気がいいと窓から富士山の眺望が！



## 4床室

カーテンで仕切られた一般4床室と、家具で仕切られた準個室構造の部屋(MDタイプ)があります。  
※MDタイプは差額ベッド代がかかります。



MDタイプ/家具で仕切られた4床室。相部屋ながらも個室感がある



LDRルーム(MLタイプ) / 設備は特別個室(MSタイプ)と同じで、量もある。出産後には、分娩台がベッドに入れ換わる

部屋を移動しなくてすむので、出産後もゆっくりできました。

(32歳・女性)



入院中のママたちの交流スペース

## 授乳サロン



座面の高さが異なる2種類のいすを配している

広さ70㎡、24時間オープンソファールームです。デザインコンセプトは、樹木の枝や葉の間から木漏れ日が差し込む“鳥の巣”。お母さんと赤ちゃんが触れ合い、育むという行為を、「自然の中に包み込む」ように例えました。

# NICU (新生児集中治療室)

早産や低体重、重い病気などが原因で特別な医学的管理を必要とする赤ちゃんのための集中治療室です。室内には、十分な体温を保つための保育器や、呼吸を

助ける人工呼吸器、体の状態を細かく観察するモニター類などのさまざまな医療機器を備え、専任の医師や看護師が24時間態勢で赤ちゃんを守っています。



大きな窓に囲まれた、開放感あふれるフロア

## 赤ちゃんが穏やかに過ごせる環境

赤ちゃんは温度や光に敏感なので、保温性に優れる二重窓を採用し、ブラインドで自然光を調整。天井の照明も部分的にオン・オフの切り替えが可能です。

## お母さんも一緒に赤ちゃんをケア

赤ちゃんができるだけ早く自宅に帰り、お母さんが自信を持って育児をするためには、親子の関係づくりが大切です。赤ちゃんの状態や反応を見ながら、お母さんも積極的にケアに参加します。

広々として、明るい雰囲気ですね。

(33歳・女性)



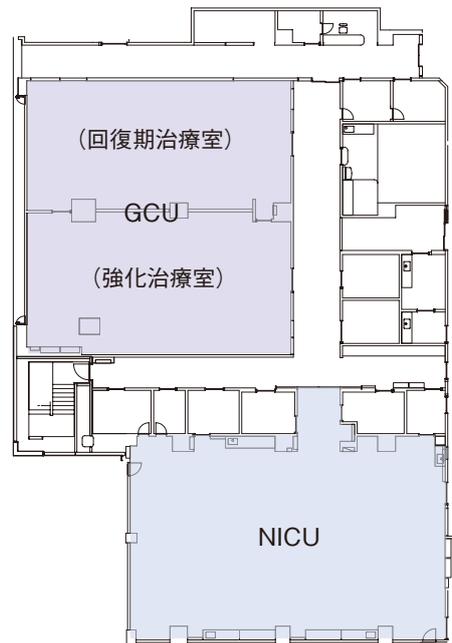
赤山 美智代  
NICU・GCU  
看護師長



NICU・GCU  
看護師長  
赤山 美智代

# NICU GCU

生まれて間もない赤ちゃんに、高度な専門的治療を行います。



## GCU (回復期治療室・強化治療室)

NICUでの治療を終え、状態が安定してきた赤ちゃんは、こちらの部屋に移ります。最初からGCUに入る場合もあります。NICUと同じくスタッフが24時間態勢でケアしています。

初めて赤ちゃんを抱けたときは嬉しかった！少しでも長く赤ちゃんの側にいられればと思います。

(26歳・女性)



天井には、青空の下で遊ぶ羊の絵が描かれている



ある日の出産クラス。模型を使って、骨盤から胎児が出てくる仕組みを説明

笑顔と なるほど! があふれる

# マザーフレンドリーホール

5Fのマザーフレンドリー (MF) ホールでは、これから出産する妊婦さんやご家族が妊娠・出産・育児について学ぶ「マタニティークラス」を開講しています。お気軽にお申し込みください。

## 妊娠クラス

医師・薬剤師・管理栄養士・助産師が、安産のための妊娠生活をアドバイスします。質問タイムも多めにとっています。

## 出産クラス

分娩室専属の助産師が、出産に向けたカラダづくり、出産の流れと過ごし方、パートナーの役割などをアドバイスします。

## 産後クラス

周産母子ユニット専属の助産師が、産後の経過や入院中の過ごし方などをアドバイス。おむつ交換や抱き方の練習もします。

## チェリークラス

助産師が、双子や三つ子を妊娠しているお母さんご家族に、妊娠から出産、育児までをアドバイスします。

## 祖父母クラス

助産師が、出産や育児について理解が必要なことや、上手なサポートの仕方をアドバイスします。

## 育児クラス

小児科医が、授乳のコツや離乳食などについてアドバイス。参加者によるフリートークの時間もあります。

お申し込みは産科外来までどうぞ。各クラスの開講スケジュールも掲示しています。

## お薬外来

薬に関する疑問や不安に、  
産科医と薬剤師が  
時間をかけて  
丁寧にお答えします。

第一産婦人科  
副部長  
笠井 靖代



薬剤部 製剤課長  
薬剤師  
植松 和子



### おなかの赤ちゃんに 有害な薬はごくわずかです

妊娠している多くのお母さんが、薬のことで不安や疑問を持っていらっしゃると思います。相談内容はさまざまですが、よくあるご相談は「妊娠したことに気付かないまま風邪薬を飲んでしまいました。おなかの赤ちゃんに悪い影響が出ませんか?」「合併症があるため、妊娠中に継続して飲まなければいけない薬があるのですが、赤ちゃんに心配はありませんか?」「出産後も薬を飲み続ける場合、赤ちゃんに母乳をあげるのは問題ですか?」などです。

お母さんのおなかの中にいる赤ちゃんにとって本当に有害な薬は限られています。妊娠中に薬を全く服用しない場合でも、生まれつきの病気(先天奇形)を持つ子どもが生まれる可能性は、3〜4%程度はあるといわれています。この3〜4%を基準に、服薬によるリスクがそれ以上か、さほど変わらないかを判断します。

### 大半の薬が母乳育児に 影響はありません

当センターでは、最新のデータを基に母乳の安全性を慎重に判断し、できる限り母乳育児が行える方法を考えます。ほとんどの薬は、出産後のお母さんが服用しても赤ちゃんに影響はありませんので、母乳育児が可能です。

アメリカ小児学会で母乳育児の禁忌薬に挙げられているのは、①コカイン、ヘロインなど、薬物依存症をもたらす麻薬や覚せい剤、②抗がん剤・免疫抑制剤、③放射性物質などの特殊な薬剤——のみで、通常、これらの薬をお母さんが服用することはありません。

問題はむしろ、薬の影響を心配し過ぎて授乳を一時的にやめてしまい、母乳が出なくなってしまうことです。赤ちゃんに吸われる刺激がなくなると、母乳の分泌が急激に低下し、結果として母乳育児をあきらめざるを得なくなることが多いのです。ですから、母乳育児に取り組む上でも、薬について十分に理解しておくことはとても大切です。

### 予約方法

- 産科外来に直接お電話でお申し込みください。
- なお、外来診療時間は水曜日(午前・午後)と木曜日(午後のみ)です。

表紙の花

【アレンジメント制作】

いまむら そうぎょく  
今村 草玉 先生

(当センター共済会華道部講師・草月流師範会理事)

桜の季節は日本中が温かい気持ちになります。子どもも花も育むことが大切です。優しいお母さんの心の色を花で表現してみました。

今村先生のホームページ <http://sougryoku.com/>

撮影：古島 万理子



### 出合いを待ち望む お母さんと赤ちゃんに、 最高の輝きを

周産母子・小児センター長  
**杉本 充弘** すぎもと・みつひろ

新しくなった周産母子センターは、3階に産科と小児保健を隣接させた外来エリアを確保し、5階のワンフロアに周産母子ユニット、分娩室、NICU、MFホールなどを集結。その3階と5階を、1階から直通の専用エレベーターで結ぶことで、旧病院「健康棟」のコンセプト（病棟とは分離させる）を引き継いでいます。また、救急搬送専用エレベーターにより、救急部門、分娩手術室、分娩室といった各施設間の移動がしやすくなったため、円滑な救急患者搬送も期待できます。施設のデザインやインテリアも工夫を凝らしました。分娩室は、家庭的な雰囲気の中で家族がリラックスしながら新たな命を迎えるにふさわしい、おしゃれで魅力ある空間となっています。念願だった窓のあるNICUやGCUも、中層階に庭園を造ることで実現することができました。

このように、建設関係者の創意と工夫が詰まった新センターの環境は、周産期医療に従事する私たちの活力を引き出し、お母さんと赤ちゃんに最高の輝きを与えてくれることでしょう。



### かけがえのない生命を ご家族と共に 見守っていききたい

周産母子・小児センター 副センター長  
**川上 義** かわかみ・ただし

日赤医療センターの新生児集中治療室（NICU）は1975年に開設されて以来、35年の歴史があります。小児外科や心臓外科などの先生方の協力により、小さく生まれた赤ちゃんだけでなく、手術を必要とする病気の赤ちゃんの治療にも対応できる当センターのNICUは、東京都における周産期医療の中核病院としての機能を果たしてきました。

新病院への移転と同時に、旧病院時代は窓のない閉鎖的な空間であった病室が、外の景色の見える開放感あふれた病室へと生まれ変わりました。これからも私たちは赤ちゃんの生命を救うため、高度な医療を提供できるよう全力を尽くしていくとともに、ご家族の皆さんと一緒に赤ちゃんの健やかな成長を見守っていききたいと思っています。



### いつの時代も同じ、 母の祈りと 人の手のぬくもり

分娩室 看護師長  
**中根 直子** なかね・なおこ

昨年末、新病院への引っ越しの最中に、古いストップウォッチが出てきました。ずっしりとした手巻き式で、ちゃんと動きます。ふたの裏には「日赤中央 産室」の刻印。「日赤中央病院」と称していたのは、旧病院以前の昭和16年から47年までで、当時は年間3,500人を超える出産がありました。この小さな時計は、いったい何百人の助産師の手に握られ、何千人のお母さんたちの陣痛を測り、産声を聞いてきたのでしょうか。

医療がどんなに“ハイテク”になっても、子を産む女性の祈りや寄り添う人の手のぬくもりが変わることはありません。そして今、国内最大級の規模の周産母子センターへと生まれ変わり、私たちスタッフの結束もますます強まっています。明治19年に「博愛社病院」として誕生して以来、日本の近代史とともに歩んできた日赤医療センターのゆるぎない「博愛」の精神と実績を、しっかりと守り継いでいきたいと思っています。



### 新しい家族の ドラマを作り出す “命のパワースポット”

NICU・GCU 看護師長  
**赤山 美智代** あかやま・みちよ

皆様の目に、日赤医療センターはどのように映っているでしょうか。広尾の高台にそびえる真っ白な建物の壮観は、目を見張るものがあります。

旧病院で「健康棟」と呼ばれていた周産期センターは、東京都の総合周産期母子医療センターとして、多くの妊産婦さんと共に新しい家族のドラマを作り出してきました。ここは、未熟児室（NICU）の赤ちゃんたちにとっては治療と成長の場であり、そこで働く医師や看護師、助産師にとっては、高度化の進む医療技術を結集して生まれてくる命と常に向き合う場でもあるのです。

そして今、さらに恵まれた設備と環境を得た新センターを、私たちは真摯な心を大切に「命のパワースポット」と位置付け、新しい歴史を築いていきたいと思っています。

## 日赤医療センターは“Baby-Friendly Hospital”です

日赤医療センターは、母乳育児を積極的に推進、支援しています。2000年には、WHO（世界保健機関）とユニセフ（国連児童基金）からBaby-Friendly Hospital<sup>®</sup>（赤ちゃんにやさしい病院）の認定を受けました。

※「母乳育児成功のための10か条」を満たす施設。10か条には、すべての妊婦さんに母乳育児のメリット・方法を周知することや、分娩後30分以内の授乳を援助することなどの項目がある。

